

- +++++
- ◇ 平成26年度共同主催国際会議「第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会」の開催について（ご案内）
 - ◇ 公開シンポジウム「人工降雨による渇水・豪雨軽減と水資源」の開催について（ご案内）
- +++++

■ 平成26年度共同主催国際会議「第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会」の開催について

会 期：平成26年6月17日（火）～6月21日（土） [5日間]
場 所：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

日本学術会議と一般社団法人日本作業療法士協会が共同主催する「第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会」が、6月17日（火）より、パシフィコ横浜で開催されます。

当国際会議では、「Sharing Traditions, Creating Futures（伝統を分かち、未来を創る）」をメインテーマに、8つのコングレステーマを設け、それぞれのテーマに沿って基調講演・シンポジウム・ワークショップ等多様な形態のセッションが行われることとなっており、その成果は、わが国のみならず世界の作業療法士の今後の活動の幅を広げ、人々の生活の支援と発展に大きく資するものと期待されます。また、本会議には73カ国・地域から約5,000名の参加が見込まれています。

また、一般市民を対象とした市民公開講座として、6月21日（土）に「感動があるからこそ、作業療法である！～「当事者3人」と「作業療法士」とで作業療法の本質を考える」が開催されることとなっております。関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、御参加いただけますようお願いいたします。

第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会 市民公開講座
「感動があるからこそ、作業療法である！

～「当事者3人」と「作業療法士」とで作業療法の本質を考える」

日 時：平成26年6月21日（土）

会 場：パシフィコ横浜 メインホール

参加費：無料

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。

○国際会議公式ホームページ (<http://www.wfot.org/wfot2014/>)

【問合せ先】日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付国際会議担当
(Tel : 03-3403-5731、Mail : i254@scj. go. jp)

■ 公開シンポジウム「人工降雨による渇水・豪雨軽減と水資源」
の開催について（ご案内）

日 時：平成26年6月26日（木）13:00～17:00

場 所：日本学術会議講堂（1階）入場無料・事前申し込み不要（定員300名）
東京都港区六本木7-22-34（東京メトロ千代田線 乃木坂駅5番出口左）

主 催：日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会

後 援：日本気象学会、日本農業気象学会、日本沙漠学会、水文・水資源学会

開催趣旨：近年、地球温暖化によって異常気象が頻発しており、また極端気象の発生増加も懸念されている。このような背景のもと、まず気象改良・気象改善の方面から気象・気候コントロールの意味の広い立場から話題提供して論議するとともに、その内の主要な課題である気象災害をもたらす両極端の干ばつ・大雨に関して、その防止対策法に密接に関連するイノベーション技術、すなわち人工降雨法による人工増雨と豪雨・豪雪防止への応用方法および水資源として利用可能な水量確保の方法、特に液体（液化）炭酸人工降雨法を中心に論議する。そして併せて広い気象制御法の今後の発展・方向性について展望する。

プログラム

- 13:00~13:05 開会挨拶
大政謙次 (日本学術会議会員・日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会委員長、東京大学農学生命科学科教授)
- 13:05~13:10 趣旨説明
真木太一 (日本学術会議連携会員、日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会副委員長、(独)国際農林水産業研究センター特定研究主査、九州大学名誉教授)

座長：山形俊男 (日本学術会議連携会員、
(独)海洋研究開発機構アプリケーションラボ)

13:10~13:45

- (1) 液体炭酸散布による人工降雨実験－2012年2月27日の実験事例－
守田 治 (福岡大学環境未来オフィス)
真木太一 (日本学術会議連携会員)
鈴木義則 (日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授)
脇水健次 (九州大学大学院農学研究院)
西山浩司 (九州大学大学院工学研究院)

13:45~14:20

- (2) 液体炭酸人工降雨実験に対する数値シミュレーション
－2012年2月27日三宅島付近で行われた事例に関して－
J. Venkata Ratnam ((独)海洋研究開発機構アプリケーションラボ)
大西 領 ((独)海洋研究開発機構地球情報基盤センター)

14:20~14:55

- (3) 液体炭酸散布による人工降雨実験－2013年の実験事例－
真木太一 (日本学術会議連携会員)
守田 治 (福岡大学環境未来オフィス)
鈴木義則 (日本学術会議連携会員)
脇水健次 (九州大学大学院農学研究院)
西山浩司 (九州大学大学院工学研究院)

14:55~15:10 休憩

座長：北野雅治 (日本学術会議連携会員、九州大学大学院農学研究院教授)

15:10~15:45

- (4) 大量seedingによるレーダーエコーの減衰
遠峰菊郎 (防衛大学校地球海洋学科)
脇水健次 (九州大学大学院農学研究院)
西山浩司 (九州大学大学院工学研究院)
島田正樹 (防衛大学校地球海洋学科)

15:45~16:20

- (5) 異常気象をもたらす気候変動現象の発見とその予測
山形俊男 (日本学術会議連携会員)

16:20~16:55 総合討論

座長：鈴木義則 (日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授)

16:55~17:00 閉会挨拶

野口 伸 (日本学術会議会員、日本学術会議食料科学委員会委員長、北海道大学大学院農学研究院教授)

連絡先：〒305-8686 茨城県つくば市大わし1-1

(独)国際農林水産業研究センター特定研究主査 真木太一
Tel・Fax: 029-838-6635 E-mail: maki@affrc.go.jp

★-----★

日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。
アカウントは、@scj_info です。
日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから
http://twitter.com/scj_info

★-----★

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから
<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

日本学術会議ニューズメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34